

令和3年度第2回大野市環境保全対策審議会の概要

日 時 令和4年3月18日（金）
午後7時00分～午後8時10分
場 所 大野市役所2階 大会議室

1 議事

(1) 会長あいさつ 小松会長あいさつ

(2) 議事事項

①環境基本計画令和2年度年次報告書について

- ・事務局より、資料1「越前おおの環境基本計画令和2年度年次報告書」に基づき、令和2年度末の大野市内の環境の概況や第二期大野市環境基本計画に基づく令和2年度の取組状況について説明を行った。
- ・委員からの意見等は次のとおり。（要旨）

<令和3年度の記録的な地下水位の低下について>

○委員： 令和3年11月の地下水位の低下状況と令和4年度以降も同様の状況が続くのかどうか見解を聞かせてほしい。

→事務局： 11月22日に8m22cmという過去最低位を記録した地下水位の低下は、9月から10月にかけて降水量が記録的に少なかったことが主な要因。

令和4年度も降水量が極端に少なければ同様の状況になることも考えられるが、今回の教訓を生かし、市民への早めの周知を行うなど迅速な対応をしていきたい。

②大野市脱炭素ビジョンの策定について

- ・事務局より、資料2-01、資料2-02に基づき、策定趣旨などの大野市脱炭素ビジョンの概要や令和3年度の取組結果、令和4年度の取組予定を説明した。
- ・委員からの意見等は次のとおり。（要旨）

<地域資源を生かした取り組みとその貢献>

○委員： 「地域特産物で廃棄されている未利用資源等の活用や市内企業との連携など大野らしさの追求」とあるが、「大野らしさ」とは具体的にどういったことか。また、それを追求することで大野市の脱炭素にどう貢献するのか。

→事務局： 脱炭素ビジョン策定協議会の委員からは、特産品であるサトイモの親芋など未利用バイオマスを使った発電や、森林資源や水を生かした取組など、大野市の地域特性を踏まえた資源を活用した取組を検討してはというご意見があった。

これらの大野らしい資源を活用することで、地域経済循環への貢献がなされるのではないかと考えている。

③令和4年度の主な取組について

- ・事務局より、資料3に基づき、令和4年度の主な環境施策を令和3年度の取組実績を踏まえつつ説明を行った。

・委員からの意見等は特になし。

3 その他

・次回の開催は、10月開催予定。主な議題は「令和3年度年次報告書について」と「大野市脱炭素ビジョンの策定経過報告」の2点。

4 閉会あいさつ 齊藤くらし環境部長あいさつ